

(特非) ECOフューチャーとっとり

温暖化防止行動を導くための身近な環境変化情報の提供体制構築プロジェクト

イベントの 延べ参加者数	71人
生物季節観測参 加者(延べ)	20人
活動の全体目標 に対する達成度	100%



「気候変動の地元学」ワークショップの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

様々な人や団体と協議を重ねながら活動を進める中で、活動を発展させるために組織化を図り、責任をもって主体的に活動することが必要と考えた人たちにより、新団体が一つでき、またその団体を含むネットワークができた。

●工夫

幅広い視点から事業を実施するために、地域の人、団体や県外の団体、研究者に協力をお願いした。

課 題

地球温暖化問題を、自分の住む地域にも影響がある身近な課題ととらえて、省エネや再エネ導入等の環境配慮行動に取り組む人を増やし、地域を低炭素化すること。

目 標

省エネや再エネ導入などに取り組む人を増やすには、それを支援するための人材が必須であると考え、その活動をする人を増やすこと、その人たちが活動しやすいようなツールや場の整備をすることを目標とした。

活動内容

環境配慮行動への動機づけの材料となるように、地域内の気温の変化や農漁業、自然生態系への温暖化の影響事例を調べ、分野横断的な情報の一元化と影響の可視化に取り組んだ。また、これらを題材にしたワークショッププログラムを企画し実施した。ワークショップでは、情報を一方的に伝えるだけでなく、次の行動につなげるために必要なことを、参加者が各自でより深く考えるような場となるように企画した。



桜の開花日調査

達成できなかったこと

なし。

今後の展望

新団体により、地域の人のためのエネルギー相談会等の新たな活動が計画されている。